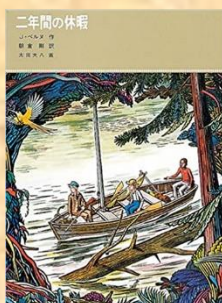


～洛西からの一読～

今回のテーマは「冒険」

夏休みを迎えましたが、今年は「新型コロナウイルス感染症」の影響で例年にな
い夏を過ごすことになりそうです。本当だったらオリンピックで盛り上がっていた
のに……。ワクワク、ドキドキを本の中で体験してみてください。



二年間の休暇 (Deux Ans de Vacances)

ジュール・ヴェルヌ著 朝倉剛 訳 福音館書店

今から 100 年以上前のお話。ニュージーランドの首都オークランドにある寄宿学校に通
う生徒たちが、長期休暇を利用してニュージーランド沿岸を一周する旅をすることになっ
た。しかし、楽しいはずの船旅がアクシデントから無人島に漂着し、過酷な冒険の旅にな
ってしまった。子どもたちだけのサバイバルな生活が始まり、次々と困難を乗り越えていくことになる。子ども
たちが、生きていくための知恵と勇気と団結を、場面場面で見せてくれる。

文章の巧みさについつい 16 人目の登場者になって、試練を乗り越えていく感覚におちいる。ザ冒険物語
を堪能してみてもいいでしょうか。想像力豊かに冒険を楽しんでください。

「十五少年漂流記」というタイトルでも出版されています。



エルマーのぼうけん (My Father's Dragon)

ルース・スタイルス・ガネット・作 渡辺茂男・訳 福音館書店



エルマーは 9 歳の男の子。年取った野良猫からりゅうの子
の話聞いたエルマーは、そのりゅうの子を助けたいと思い
準備を始める。お父さんのリュックサックを借りてきて、荷物
を詰め込む。チューインガム、ボウツキキャンデー、輪ゴム、
黒いゴム長靴、じしゃく、歯ブラシ……。後にこれらの品物が大活躍。エルマーは、りゅうの子がいるどうぶ
つ島へ一人で向かいます。どうぶつ島には、ねずみやかめ、いのしし、トラ……がいて、エルマーはその動
物たちの攻撃から勇敢に身を守ります。そして、ようやくりゅうの子を見つけ助け出すことができました。ここで
「エルマーのぼうけん」が終わり、次に「エルマーとりゅう」で島から脱出して無事家に帰ってきます。「エルマ
ーと 16 匹のりゅう」では、エルマーと別れて自分の住処に戻ったりゅうの子が自分の家族を救ってもらった
ため再びエルマーに協力してもらいます。3 冊とも読んでみるのがおすすめです。